

コロナ対策3年目。 2022年度、スタート！

感染予防で、高校生活の可能性を広げよう

4月1日から新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが「ステージ1」に移行したものの、新規感染者は、まだまだ減少しそうにありません。現在流行しているウイルスは、重症化する可能性は低いものの感染力が強いと言われています。基本的な感染予防対策を地道に行っていきましょう。

<自分と周りの人の健康を守るために、実施してほしいこと>

登校前の検温、健康観察

毎朝、必ず体温測定、健康状態を確かめる。
発熱がある場合や微熱でも風邪の症状がある場合は、無理をせず、自宅で休養する。



マスクの着用（予備のマスク持参）

普通に話していても飛沫は1m飛ぶと言われています。
会話する時は、必ずマスクを着用してください。
汚れたマスクは、自宅へ持ち帰ってください。（ポリ袋持参）

手で、顔を触らないことを意識してください。



～ マスクなしでの会話はしないで！ ～

- 食事中 ●部活動の休憩中、部室での更衣中、ミーティング中
- 体育が終わった後 ●登下校中（友人と話しながら帰る時） など

手洗い（外から教室等に入る時、トイレの後、食事の前後 等）

手に付着したウイルスを洗い流すため、石けんを使って手を洗う。
手を洗えない場合は、消毒液（教室前に設置）を利用する。
教材、物品など、共用するものを使用した後は、手洗いまたは消毒をするように心がける。

洗面所の蛇口が指先を使わずに、開められます！

教室の換気

※教室の高窓（廊下側）は、15cm程、常時開けてあります。

授業が終わる毎に、外窓2カ所と入口のドアを開けて換気する。特に昼食時は、積極的に実施！

昼食時は、「向かい合って食べない」「静かに食べる」「食べ物は分け合わない」

- <食堂>
- ・列に付く時は、間隔を空けて待つ。
 - ・一方方向で座るように、椅子は間引いてある。座れない場合は、テイクアウトにする。

“できるだけ ソーシャル ディスタンス(社会的距離) をとる

飛沫を避けるため、できるだけ人との距離を1～2mとる方がよい。
特に、マスクをしていない時は、2m離れる。

教室のドアノブ、スイッチの消毒

たくさんの人が触る教室のドアノブ、スイッチを清掃時に消毒する。

規則正しい生活

十分な睡眠、栄養をとり、規則正しい生活を送ることで、体力や抵抗力を高め、感染症に負けない体を作る。

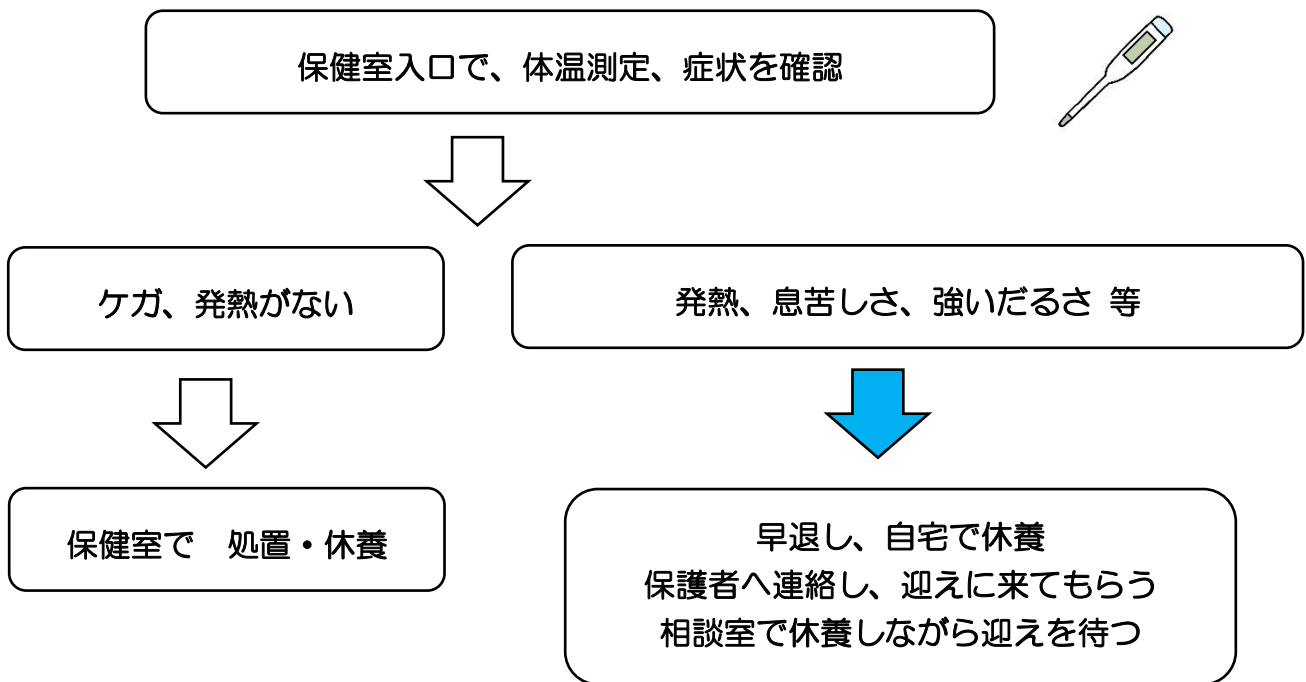


登校後、熱っぽい、体調が悪い、と思ったら、

我慢せずに体温測定に来てください。

◆ 保健室での対応 ◆

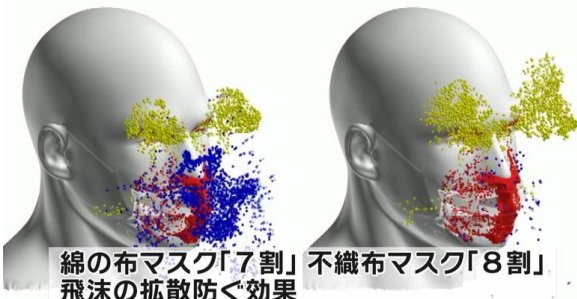
原則として、発熱している人に対しては、感染症拡大防止の観点から 次のように対応します。



保健室に **不織布マスク** あり☑

マスクを忘れてきてしまった時、紐が切れてしまった時は、保健室に来てください。

©NNN



<理科学研究所「富岳」シミュレーションより>

※不織布マスクが最も予防効果が高いとされています。

予防効果の高い順は、

不織布 > 布 > ウレタン

マスクをしているか、 していないかで



濃厚接触にあたるか
濃厚接触にあたらないかに
大きな差が出てきます。



活動を続けるために **部活動での注意**

～ 感染対策は、基本的に同じ ～

運動部は、競技中にマスクを外すので、着脱の切り替えを意識しよう。

●マスクを着ける

↓
ミーティング中、 休憩中、
更衣中、 部活動の準備中